

「島根あさひ社会復帰促進センター」における 受刑者向け職業訓練プログラムの教材開発について

産業技術大学院大学は、PFI手法※を活用して整備・運営される官民協働の刑務所「島根あさひ社会復帰促進センター」（以下「島根あさひセンター」という。）における受刑者向け職業訓練プログラムの教材開発を行いました。

職業訓練プログラムは、産官学連携による受刑者の出所後の就労支援のための画期的なプログラムであり、刑務所における今後の職業訓練のモデルにもなりうるものです。

受刑者の出所後の就労支援に参画することは、国民が強く求める安全な生活の確保に直結するものであり、安全な生活が確保できれば、経済的にも活発で収益性の高い社会を実現することができ、社会貢献として非常に意義深いものであると考えます。

そこで、本大学においても、より安全で暮らしやすい社会の実現のため、本大学の有するノウハウを受刑者の改善更生のために役立てるべく、職業訓練プログラムの教材開発を行いました。

今後は、島根あさひセンターにおいて職業訓練プログラムを指導するインストラクター養成を行っていく予定です。

- 職業訓練プログラムは、受刑者に労働需要の高い職業に就くために必要な知識・技能を身に付けさせ、受刑者の改善更生及び社会復帰を支援することにより、再犯防止を図り、もってより安全で暮らしやすい社会の実現を目指すため、受刑者の出所後の就労支援として実施するものです。
- 職業訓練プログラムは、法務省の依頼に基き、同復帰センターにおいて職業訓練を担当する大林組からの研究委託を受けて開発されました。同訓練プログラムは、映像編集に関する知識、映像編集用ソフトウェア活用スキルの獲得を中心に構成され、映像編集のプロフェッショナル育成を目的としています。
- 映像編集作業は、編集用ソフトウェアの理解や活用といったスキルが必要とされるだけでなく、対象とする映像の仕上がりに対するビジョンといったクリエイティブな能力向上が必要とされる知的作業です。
また、映像のプロフェッショナルには、映像の作成を依頼する顧客の潜在願望

を推測し、最適な映像作成のシナリオを作成できる能力や高い倫理観も必要とされるなど、従来行われてきた木工、印刷などの社会復帰プログラムとは異なるものとなっています。

- 研究は、産業技術大学院大学学長石島辰太郎を中心に、産業技術大学院大学教員、東京工科大学教員、(株)モアデザインコーポレーション、株式会社フォトロンによって構成される研究グループが中心になって進められました。

※ P F I (Private Finance Initiative) とは、公共施設等の建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法であり、効率的かつ効果的な社会資本を整備することを目的に、平成11年に制定された、いわゆる「P F I法」(民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律)により推進されている制度です。

【問い合わせ先】

産業技術大学院大学管理部 03(3472)7833

■事業名

島根あさひ社会復帰促進センター整備・運営事業

■事業場所

島根県浜田市旭町丸原

■事業内容

PFI 法（民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律）に基づく事業で、本事業を行なうことを目的に設立された特別目的会社・島根あさひソーシャルサポート株式会社が、いわゆる BOT（Build-Operate-Transfer）方式により、新たに施設の設計・建設を行い、設備・備品等を調達、保有し、事業期間の終了する時まで、施設の維持管理および運營業務を行なうもの。構造改革特区制度を活用し、施設の警備や処遇を含め、業務の大幅な民間委託が実施される。

■事業期間

・設計建設期間

平成 18 年 10 月～平成 20 年 9 月

・運営維持管理期間

平成 20 年 10 月～平成 38 年 3 月

■島根あさひ社会復帰促進センター概要

・収容対象者

: 犯罪傾向の進んでいない男子受刑者

・収容人数

: 2000 名

（身体障害、精神・知的障害等の特別な処遇を要する者が含まれる）

■作業

受刑者に勤労習慣、職業知識・技能を身につけさせ、円滑に社会復帰させることを目的とした業務。

また、職業訓練においては、社会の労働需要に対応した訓練科目や社会貢献を実現するための技能等を修得させる。

地元の豊かな自然を活用し、地域住民や団体の協力のもと、農林水産業等を作業・職業訓練に取り入れ、適格者には施設外の作業・職業訓練も実施する。

<主な担当業務>

作業企画支援（施設内作業：ハウス栽培等の園芸作業等々、施設外作業：森林管理、水産関連湾内作業、援農等々）／技術指導／職業訓練（医療・介護、点字・点訳等々）